

【教育目標】

グローバルな視野を持ち地域に貢献できる自立した社会人の育成

- ①地域を理解し、地域の発展のために貢献しようとする、地域愛に溢れた人財を育成する。
- ②国際的な視野と多面的な考察力を持ち、課題発見・解決能力を身につけた人財を育成する。
- ③自他を尊重し、多様な人々と協働できる、コミュニケーション能力を身につけた人財を育成する。

【自校の現状・課題】

- 地域の大半の中学生が入学する。生徒の多様な進路志望や学力差に対応し、かつ、将来地域に貢献できる資質を涵養するための進路指導や学習指導が必要である。
- 素直で向上心もある生徒が多い一方で、自己肯定感が低く、協調性に欠ける生徒も見られる。生徒の主体性を高め、規範意識を醸成し、自立した社会人としての資質を養成することが必要である。
- 積極的に生徒と関わり、自己の指導スキルを向上させようとする意欲に溢れた教員が多い。個々の生徒の状況に応じた丁寧な指導が可能である。
- 地域資源に恵まれており、地域が本校に寄せる期待も大きい。地域の産官学界が連携し、地域資源を教材として活用した教育が可能である。

【地域等からの要望】

地域を愛し、地域貢献の意欲と資質を持った人財の育成が求められている。

- 総合学科及び普通科ビジネスコースでは、高い社会実践力を身につけた人財育成が求められている。
- 普通科及び普通科普通コースでは、高い教養と未来創造力を身につけた人材育成が求められている。

【本校において目指す生徒像】

- (1)自ら高い目標を設定し、達成に向けて課題を発見し、解決のために努力を継続する生徒。
- (2)主体的に学習に取り組み、社会に必要な資質・能力を身につけるために創意工夫する生徒。
- (3)他者と積極的に協働する姿勢を持ち、自他の考えを尊重しながら互いに切磋琢磨する生徒。

【学習指導方針（スクールポリシー）】

（1）生徒一人ひとりに応じた指導計画を策定し、多様な学力や進路志望に対応する。

生徒の習熟度に応じて指導内容を精選し、学習法（指導法）や到達目標を明示して指導する。ワークシートや確認テスト等を通じて、適宜生徒が理解度・到達度を確認し、自己の課題を分析する機会を設け、課題を克服して新たに一段高い到達目標を設定できるよう、学習成果の分析を踏まえながら指導・助言を行う。少人数指導の利点を生かし、個に応じた粘り強い指導で生徒の可能性を伸長する。

（2）主体的に生徒が学習する場を設定し、思考力と実践力の向上を図る。

学習の成果として身につけた知識や技能を活用して、生徒自らがより思考を深め、実践に移す機会を設ける。基礎学力の定着を図るとともに、事前学習を前提とした授業を展開して応用的な学習に挑戦させ、また、地域と連携して実社会で自らの技能を試行する機会を設け、その成果を評価することにより生徒に達成感や自己肯定感を持たせる。

（3）協働学習の技法を取り入れ、課題解決力と表現力の向上を図る。

アクティブラーニング型の授業を積極的に導入する。ICT機器を利活用して視聴覚的な学習効果を向上させることにより、生徒一人ひとりの興味・関心・意欲を高め、指導の焦点化・効率化を図った上で、他者と協働して思考する場を設定する。根拠を付して自分の考えを論理的に書いたり発表したりし、互いに評価し合う活動を通して批判的思考力やコミュニケーション能力を高める。